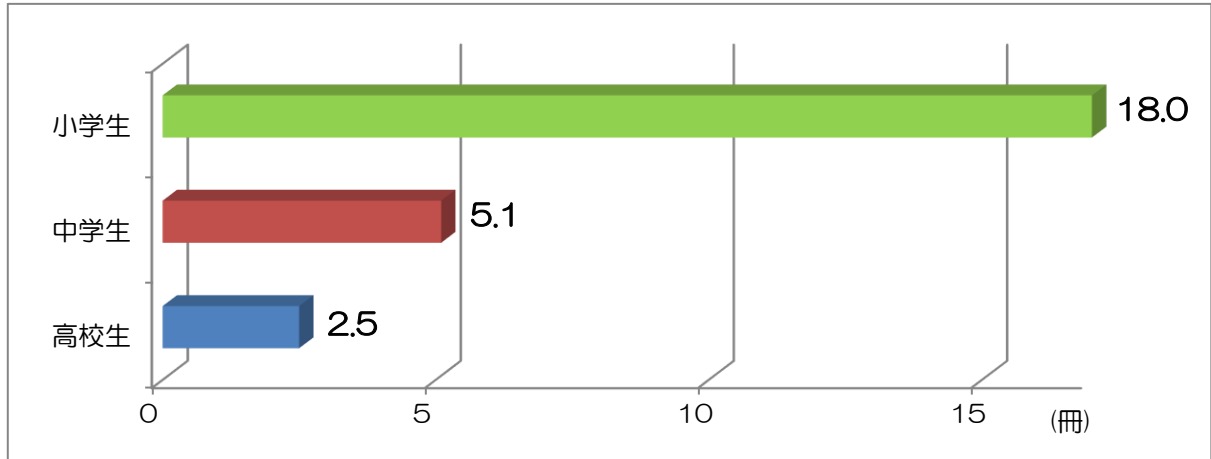


令和2年度「岩手県子どもの読書状況調査」集計結果

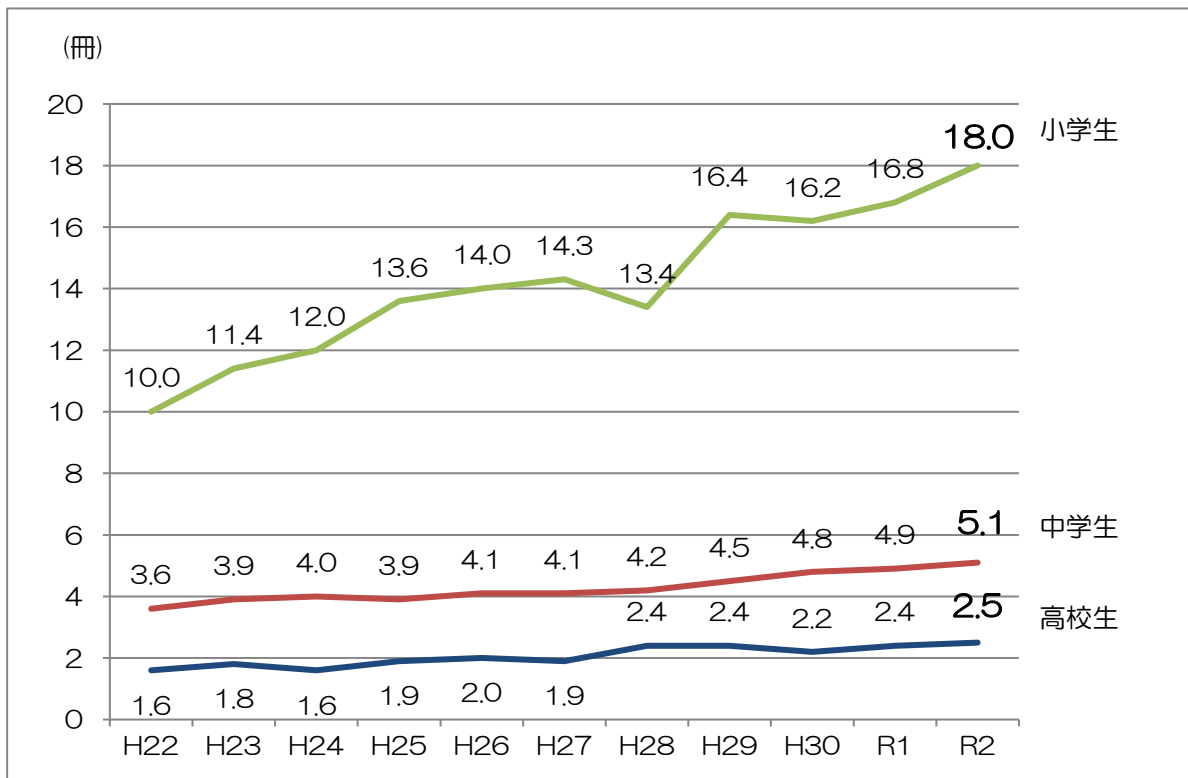
<調査の概要>

- 対象期間：令和2年10月1日～31日
- 対象児童生徒：県内各公立小・中・義務教育学校・高等学校から1学級を抽出し、当該学級の児童生徒から個別に回答を得たもの
 ※小(5年)5,427名、中(2年)3,627名、高(2年)2,050名
- 学校質問調査：学校内外の個人や団体と連携した読書推進活動や環境整備について、各校から回答を得たもの
- 調査方法：質問紙法

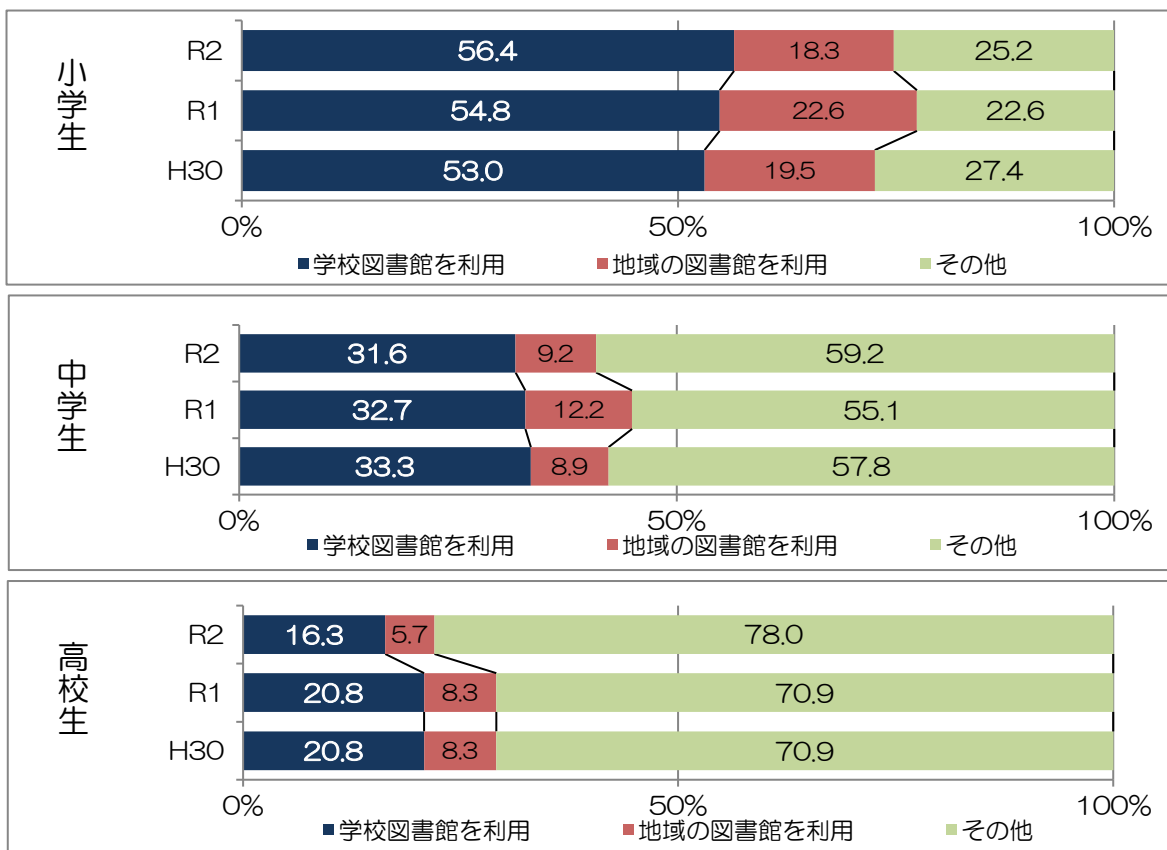
1 1か月の平均読書冊数



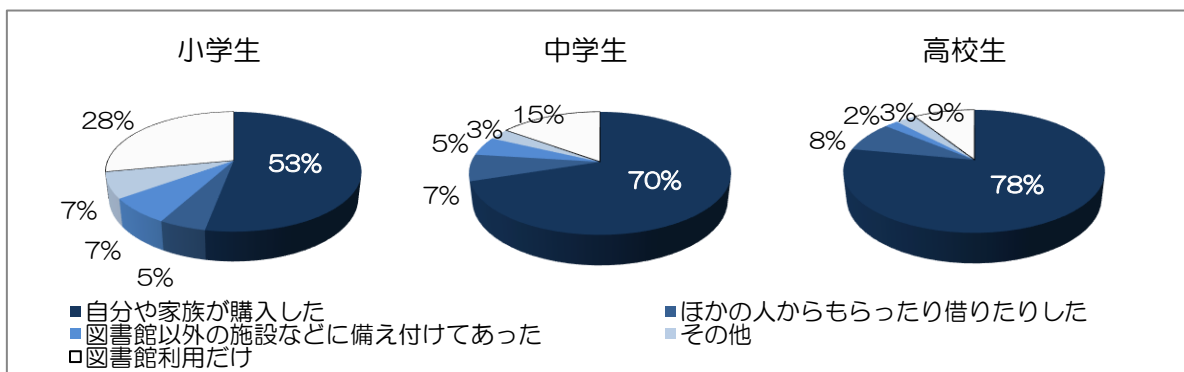
※ 1か月の平均読書冊数の経年変化
 (年度による上下はあるものの、おおむね堅調な増加傾向にあります。)



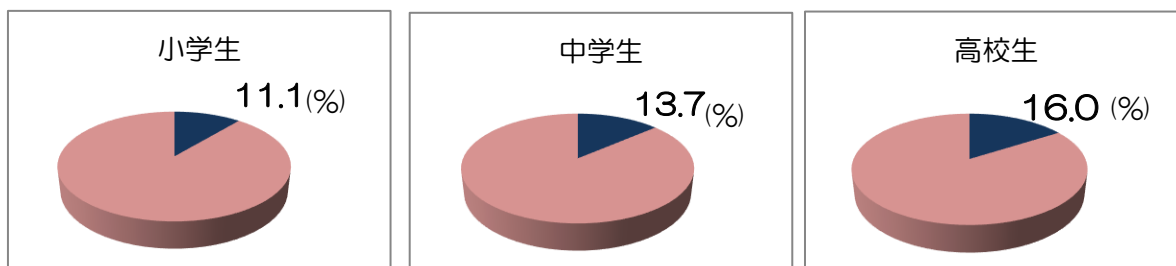
2 1か月に読んだ本のうち、学校図書館や地域の図書館を利用した本の割合
 (学校種が上がるにつれ、図書館利用以外の本の割合が増加する傾向にあります。)



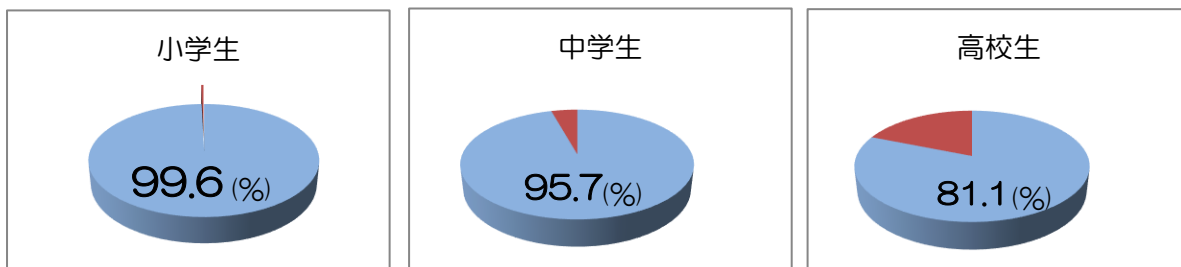
3 1か月に読んだ本のうち、図書館利用以外の本の内訳
 (学校種が上がるにつれ、「自分や家族が購入した」本の割合が増加する傾向にあります。)



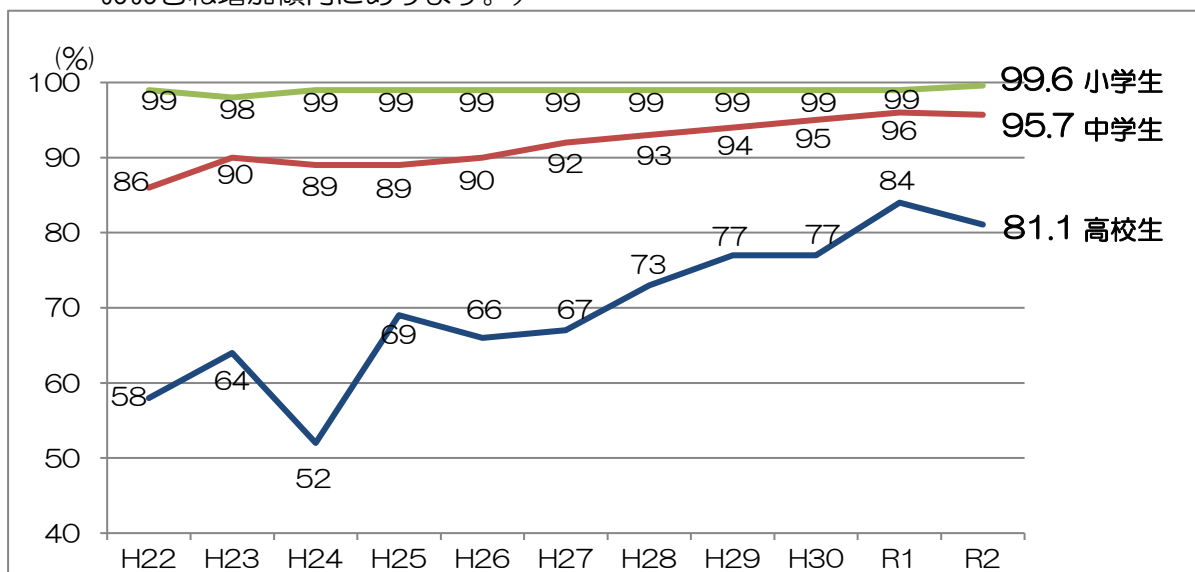
4 1か月に読んだ本のうち、友達や家族などに紹介した本の割合
 (学校種が上がるにつれ、「紹介した」本の割合が増加する傾向にあります。)



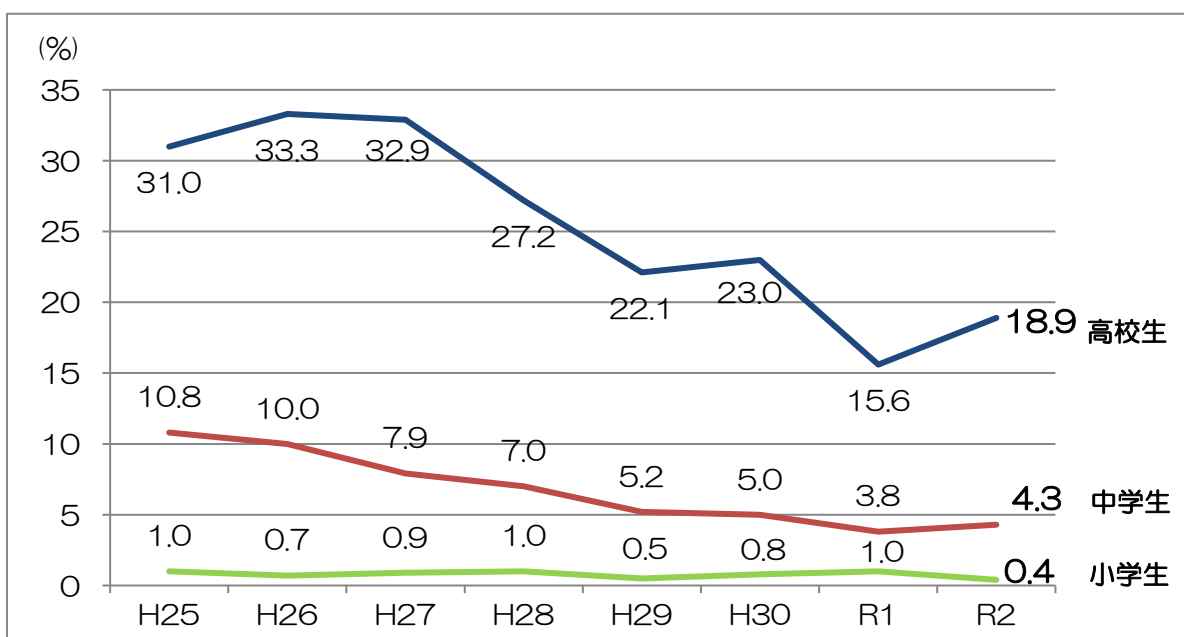
5 1か月で1冊以上本を読んだ児童生徒の割合
 (8割を超える高校生が、1か月に1冊以上本を読んでいます。)



※ 1か月で1冊以上本を読んだ児童生徒の割合の経年変化
 (年度によっては大きな変化がみられる部分はあるものの、小中学生についてはおおむね増加傾向にあります。)



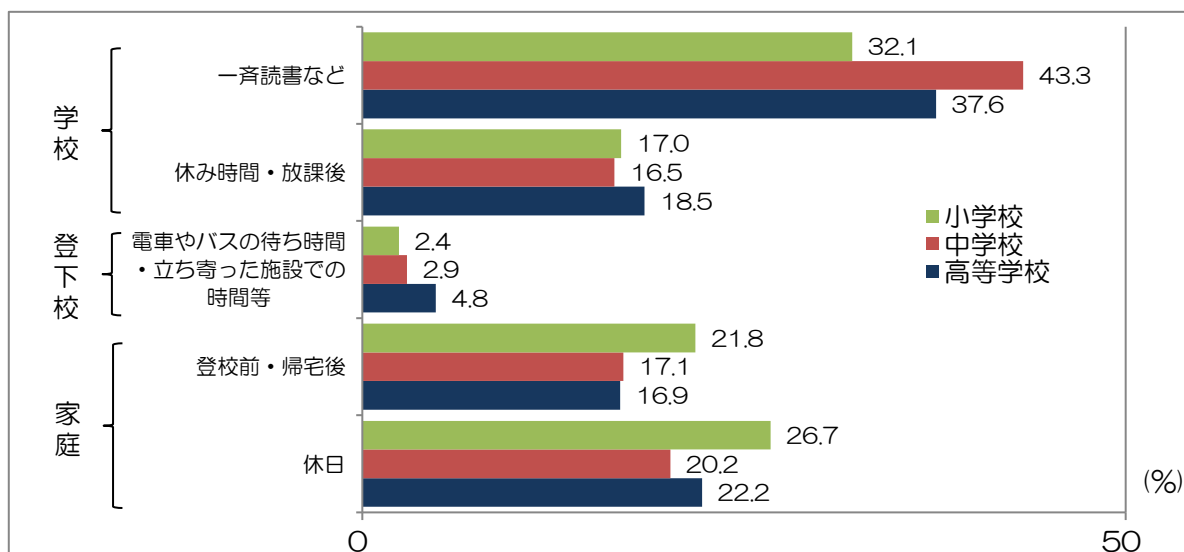
※ 不読者（1か月で1冊も本を読まなかった児童生徒）の割合の経年変化
 (中高生の不読者率は、経年変化では減少傾向にあるものの、今年度は増加傾向にあります。)



※H25年度より県内全公立小中高等学校対象調査開始

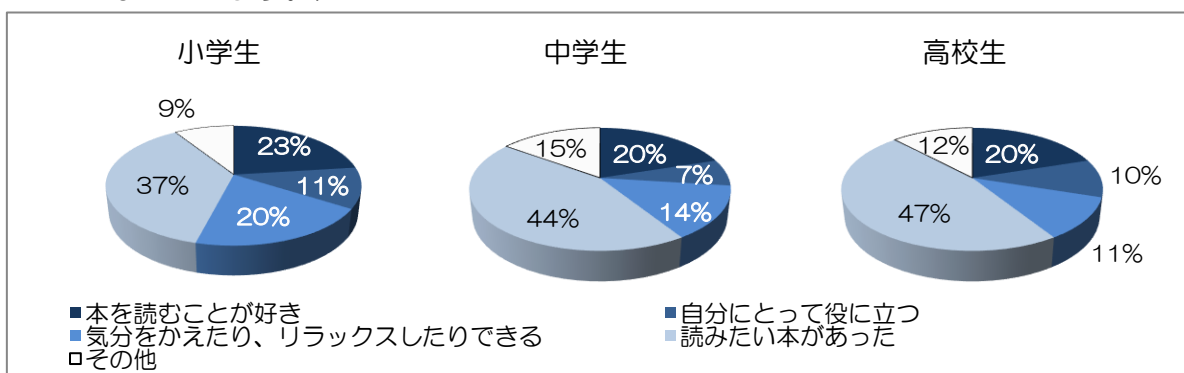
6 本を読んだ時間帯（不読者を除く）

（一斉読書などの時間以外にも、学校や家庭等で主体的に本を読んでいる児童生徒が見られます。）



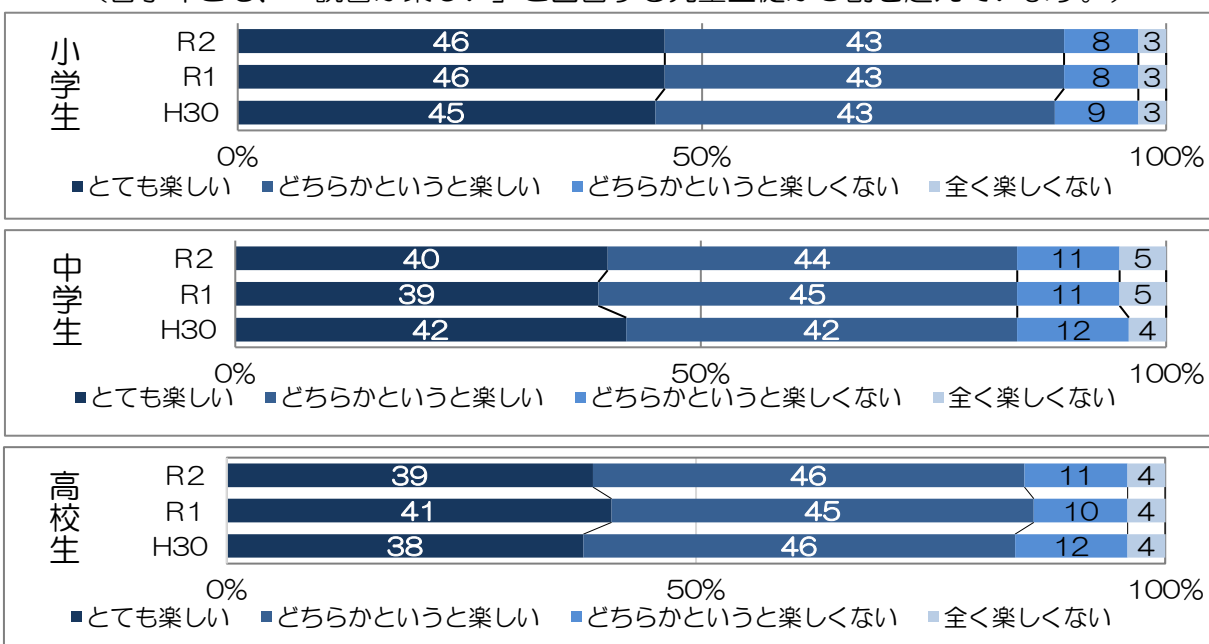
7 本を読んだ理由（不読者を除く）

（各学年とも、「読みたい本があった」を理由とする主体的な読書の割合が最も多くなっています。）

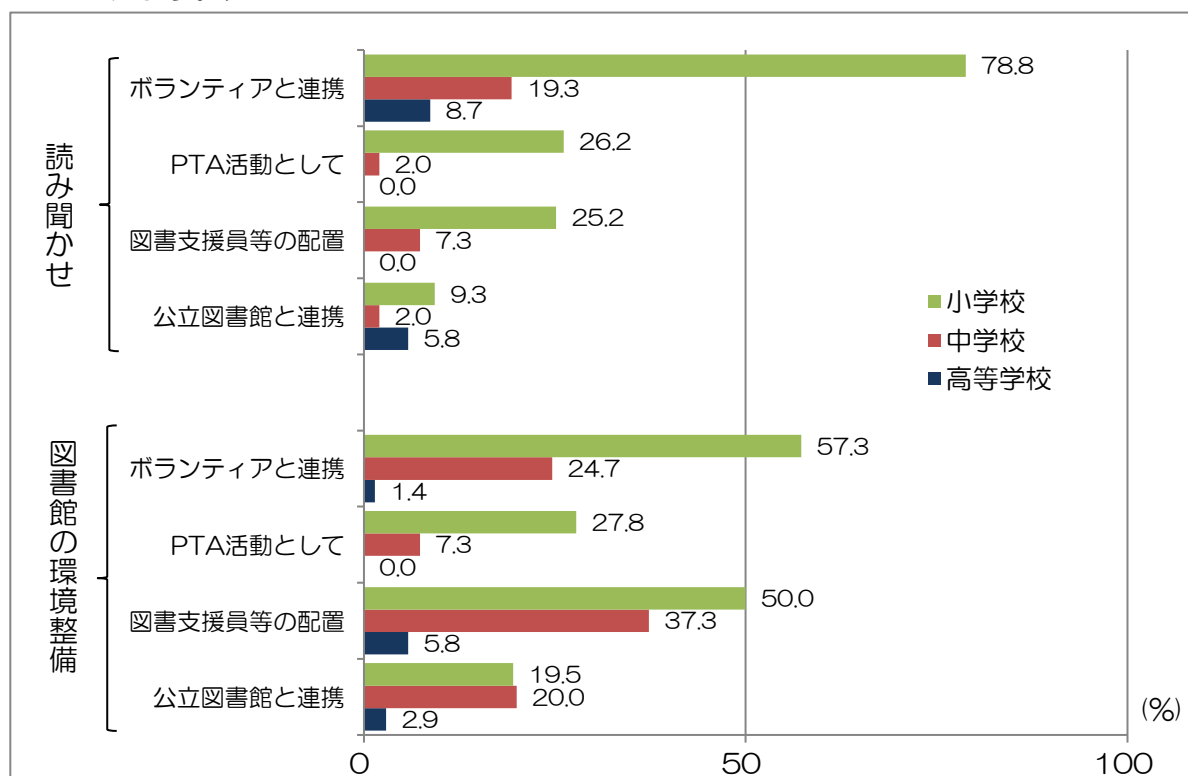


8 「読書」に対する意識

（各学年とも、「読書が楽しい」と回答する児童生徒が8割を超えています。）



9 学校内外の団体や個人等と連携した読書推進活動や環境整備を行っている学校の割合
 (ボランティアや図書支援員、公立図書館等と連携した読書推進活動・環境整備が見られます。)



【参考 (R1)】

